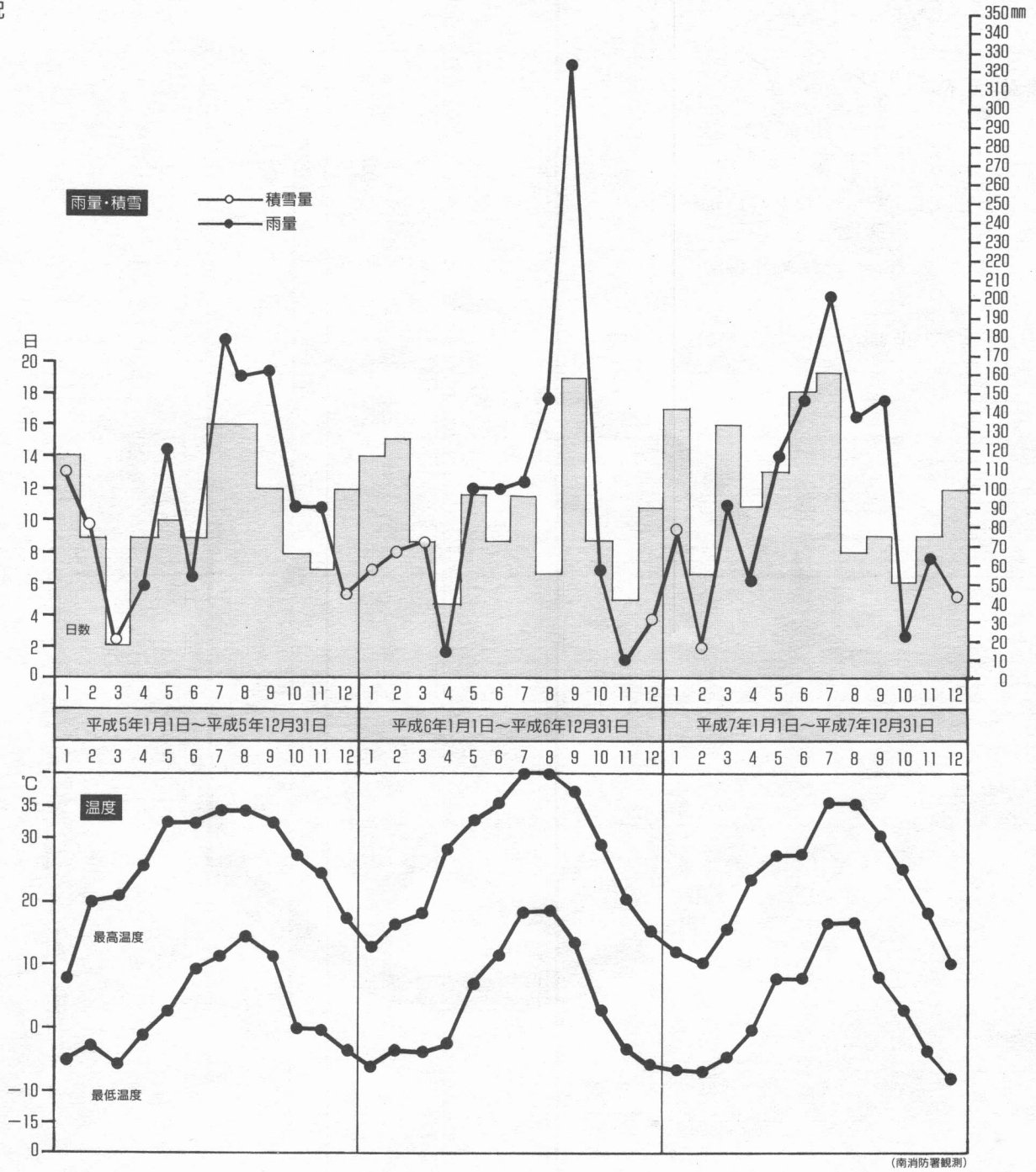


● 気象概況



1905  
38

1904  
37

1903  
36

1902  
35

1901  
34

1900  
33

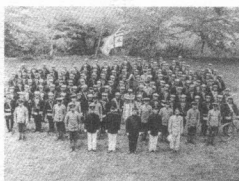
1899  
32

1898  
31

1897  
30

1896  
29

天明以後の凶作。本年凶作のため各地で救済事業が行われた。青田村地蔵地内に凶荒救済事業として、面積一町六反（二、六ヘクタール）の溜池が築かれた。（米一俵価格五円二八銭）



明治37～40年頃の消防団

八月 日露戦争  
十二月十七・十八日 積雪二尺。  
白岩岳山民有地明治初年官有地に編入となった。明治二十一年本宮荒町火災のとき本宮の者この山林を払い下げ伐採を始めた。

九月二十八日 大暴風雨、県下に死者九一人、負傷三二〇人、家屋全壊一、一一二戸、半壊五、一五六戸、流失九二戸、浸水家屋三、七八〇戸、田畑流失三〇七町歩、浸水三、九七五町歩、山崩一七ヶ所の損害を出した。

三月 愛国婦人会が創立。

七月十四日 安達太良山、沼尻噴火。

七月 青田原開墾社長梅原親固の彰徳碑が荒井甲子池畔に建立。

八月十日～十二日 洪水。  
九月八日・九日 洪水。

六月 本宮小学校内に保嬰学校が、糠沢宗次郎の慈善事業として開設。  
七月二十一日 大洪水  
九月七日 洪水により八日大川両橋流失。